

# 会報

# Vol.4 2

## 東京都女子体育連盟

### 創立60周年記念式典 平成26年度総会・実技研修会 報告

平成26年6月22日(土)都立大江戸高等学校において、連盟創立60周年記念式典、平成26年度総会及び実技研修会を開催しました。記念式典では高野会長の挨拶に続き、来賓の方々よりご祝辞をいただきました。



長年ご尽力をいただいた顧問吉野圭子先生の表彰・記念品贈呈ののち、前年度の行事報告、決算・監査報告、平成26年度役員組織報告・行事計画・予算案について審議が行われ、承認されました。次に、この10年の軌跡や研究局より「急増するダンス部の現状と課題」について報告がありました。また、平成27年11月には第49回全国女子研究大会東京大会開催が決定しており、大会テーマ「粋に雅に明日を拓く～問いかけから広がる可能性」のもと、一同一致団結して取り組む旨の報告もありました。



感謝をこめて…

午後には、連盟創立60周年の記念エキシビションとして若手教員による創作ダンス作品、日本体育大学伝統芸能コースの学生さんによるエイサーの演技が披露され、その後5人の講師の先生方から授業の現場で活用できる内容を教えていただき、皆さん熱心に研修されていました。



教員作品「LINE～それって本当につながってるの？」



日本体育大学 伝統芸能コース「エイサー」

\*\*\*\*\* 実技研修 \*\*\*\*\*

#### 実技① 「パーランク、打って、弾んで、 楽しく踊ろう ～エイサー」

日本体育大学 笠井里津子先生によりエイサーの説明や由来などを聞きながら、しだいにエイサーの踊りに引き込まれていきました。エネルギッシュな笠井先生の指導と、舞台・フロアそれぞれに学生の方々が散らばってくれたので非常にわかりやすく

踊れました。エイサーは運動量が多く、活気があり、動きのポイントは、メリハリをつけパーランクや太鼓の軌道を大きく動かすことなので、皆さんいきいきと動き、楽しんで心地よい汗を流していました。太鼓の響きは、実に心を湧き立たせるものであると、改めて実感させられました。

## 実技② 「子供をわき立たせる原点がここにある！発達に応じた言葉かけのポイントと指導」

(幼・小、中・高合同で実施)

はじめにお茶の水女子大学附属小学校 栗原知子先生によりリズムに乗っての準備運動。ただの準備運動も、みんなで歌いながら行くと気分が変わり、自然と心も体もときほぐされていきました。また、体づくりの運動ともつなげて、「エビカニクス」の音楽に合わせて動き、途中からイメージと多様な動きを入れ込んでダイナミックに踊り、心も体もほぐされて皆さんからは自然と笑顔があふれていました。

次に前国分寺市立第七小学校校長 長津芳先生による講習。リズム・表現運動でクラスを盛り上げ、ダンスを生活の一部にすることで、子どもがわき立つ原点になる話をさせていただきました。号令の代わりにリズムで知らせたり、体育でのチーム対抗戦で勝ったら喜びのダンス、負けたチームも残念ダンスを踊ったり、と先生の話に新たな視点・ヒントをいただきました。



そして、運動会でつくったリズムあそび「にんじゃりばんばん」を表現あそびに発展させました。技の国と海の底の巻～ねらいを聞いて、何に変身できるか思い浮かべ、問いかけ・やって

みる、ともだちと一緒になどのキーワードで動いていきました。

次に日本女子体育大学 宮本乙女先生より、課題解決型の授業の提案として、創作ダンスも現代的なリズムも探求型の授業で子どもから引き出すにはどのように進めていけばよいかを教えてくださいました。



ロックのリズムで動くー止まるでは、「ビートを刻んでメリハリダンス」をキーワードに現代的なリズムで動いていきました。ビートを体で刻んで、移動とストップモーションを組み合わせ、できるだけ単純な動きを、メリハリつけて刻むことがポイントとなります。動きを沢山盛り込みすぎないことと、途中でストップモーションを入れたり、繰り返したりすることで焦らず動くことができ、さらに超高速の動きを入れてリズムを崩すことで、踊りが緩慢にならずより良い仕上がりとなりました。

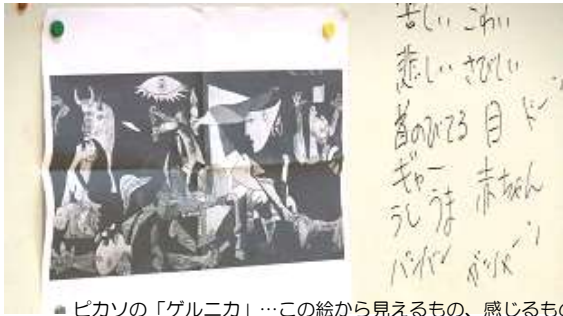


……何、見てるの？

創作ダンス「走るー見る」では、「視線の先に何かが見える」をキーワードに動きながらイメージをかけ合わせながら3人組で創作、見せ合い、次いで創作ダンス「ゲル



ニカ」～「走るー止まる」を生かしてイメージから導入する課題に挑戦しました。



■ピカソの「ゲルニカ」…この絵から見えるもの、感じるもの

ゲルニカの絵からイメージを広げ、そのイメージを持ってひと流れ、グループでまとめる～「なりきる」をキーワードに取り組みました。即興で短時間にもかかわらず、グループでまとめて発表した作品は、戦争の残酷さを象徴するレベルの高い作品に仕上がりました。見るものを引き込む迫力に大きな拍手が起こりました。

最後に、順天堂大学 中村恭子先生より、発達段階の特徴と表現運動・ダンスの指導のポイントについて講義をしていただきました。キャッチボール方式からサンドイッチ方式、さらに踏切板方式へと発達に応じた指導例の解説、学

習指導要領の内容に準じた動きや題材の解説など、大変参考になりました。

今回は、合同でおこなったため大変盛りだくさんで、内容の濃い講習となりました。特に、それぞれの発達段階で、指導のポイントや声掛け、問いかけの内容が違ってくるのが講義や実技を通して理解できました。汗だくになりながらも笑顔があふれ、大変充実した時間になりました。



…それぞれのゲルニカ、そして…

文責 金澤真理子(連盟総務企画部)

\*\*\*\*\*参加者の感想から\*\*\*\*\*

- ・クラスづくりから表現を！！普段からやっていたいと思いました。(幼)
- ・表現運動での声のかけ方や、先生方の表情、友だちとのかかわり ets とても勉強になりました。(小)
- ・エイサーを9月の運動会に向けて勉強にきましたが、表現の楽しさにも触れられて、大変満足しました。(小)
- ・幼小中高のそれぞれの発達段階にあった指導法を体験できてよかった。本日、体験したことを、学校現場に還元していきたい。(中)
- ・「走る・見る」は、はじめ難しそうだったけれど、グループでやってみると楽しくて、自分のいろいろな動きが出てきておもしろかったです。ダンスができない子も、これならできると思いました。(学生)
- ・ダンスの授業って楽しいなと感じました。先生はそう思わせることが大切だと思いました。ダンスには公式がなく、生徒それぞれが答えを持っていると思うので、それを引き出してあげたいです。(学生)

第49回全国女子体育研究大会 東京大会

平成27年11月6日(金) 7日(土)

会場 ティアラこうとう(全体会)

メインテーマ

「粋に 雅に 明日を拓く ～『問いかけ』から広がる可能性」